

これまでの経緯

<位置づけ>

石神井公園駅周辺は「都市計画マスタープラン」において、区西部地域における地域拠点に指定され、公共機関や商店も多く立地し、地域の中心的役割を果たしながら、都立石神井公園の玄関口として多くの来街者を迎える役割を担っている地域です。

<課題>

しかしながら、踏切による慢性的な交通渋滞、路線バスが相互に行き交う商店街、駅前広場の整備、密集住宅地の改善、商店街の活性化および駅前の顔づくりといった多くの課題を抱えており、かねてから改善の声を多くいただいていた地域でもあります。

<課題への対応>

こうした課題に対応するため、平成15年6月に「石神井公園駅周辺地区まちづくり全体構想」を策定し、西武池袋線の高架化による踏切の解消や南口駅前広場の整備による南北の自由往来の実現など、段階的にまちづくりを進めてきたところです。

<現在の取り組み>

本年度は、都市計画道路補助132号線 期の道路整備の完了予定のほか、石神井公園駅南口西地区市街地再開発組合の設立、都市計画道路補助232号線 -2期の事業認可がされるなど、さらにまちづくりが進捗しています。

引き続き、地域の皆さまが安全で快適な生活を送れるよう、まちづくりを進めてまいります。



これまでの主なまちづくり関連事業



石神井公園駅周辺の航空写真（令和3年）

問い合わせ先

ニュースの内容に関してご質問等がありましたら、下記までご連絡ください。

練馬区 都市整備部 西部地域まちづくり課
 TEL 03-5984-1243
 メールアドレス SEIBU03@city.nerima.tokyo.jp

石神井公園駅周辺地区まちづくりニュース



令和4年11月
 発行 練馬区都市整備部
 西部地域まちづくり課



本誌は、石神井公園駅周辺地区のまちづくりの進捗状況をお知らせするものです。

【内容】 1面 : 市街地再開発事業について
 2~3面 : 石神井公園駅周辺のまちづくりの進捗状況
 4面 : これまでの経緯

石神井公園駅南口西地区第一種市街地再開発事業

本年9月16日、東京都知事より石神井公園駅南口西地区市街地再開発組合の設立が認可されました。今後は、当該組合が市街地再開発事業の施行者となり、事業を進めていきます。

次のような事業効果が期待されます

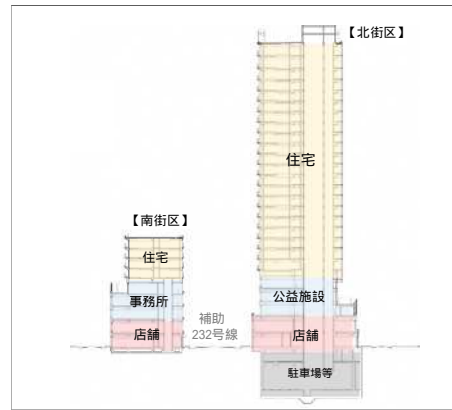
- 歩行者空間の創出による安全性・快適性の向上
- 建物の共同化・不燃化による防災性の向上
- 駅前に商業・公益施設を集約することによるにぎわいと利便性の向上



位置図

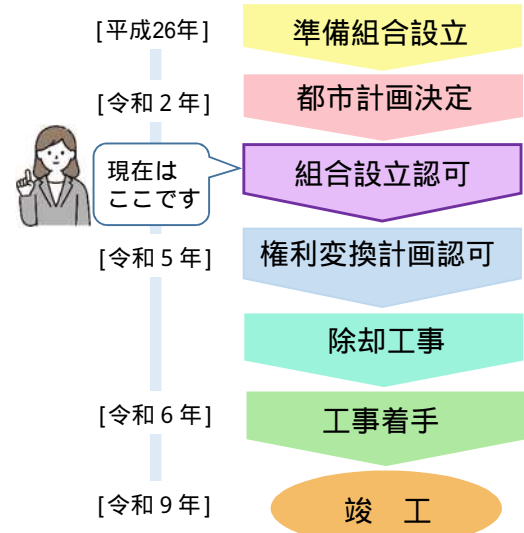


イメージパース図（今後変更となる可能性があります）



断面イメージ図

再開発事業の流れ



詳細は練馬区ホームページに掲載していますので、ご覧ください。

右のQRコードよりアクセスできます。→ →

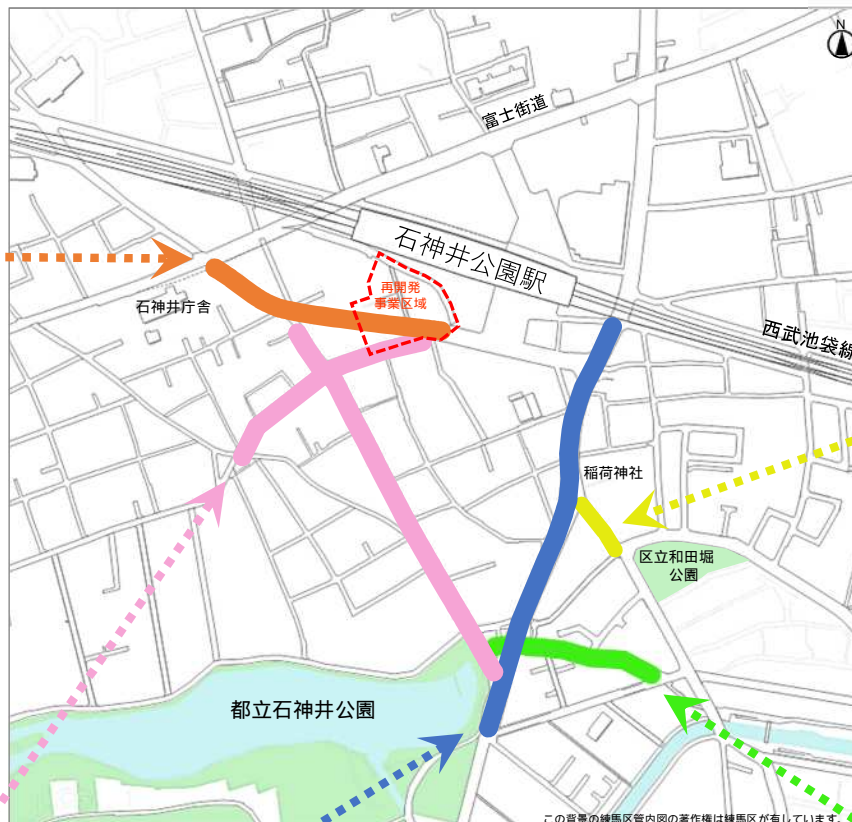
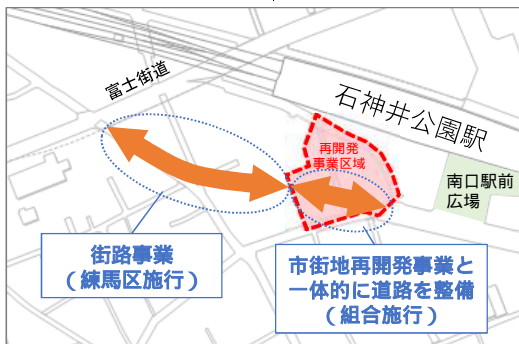
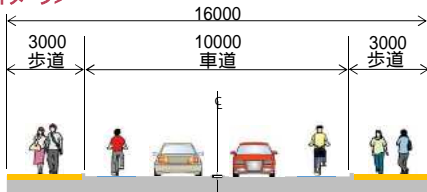


都市計画道路 補助232号線

本年10月7日、補助232号線 - 2期が事業認可されました。

今後、地域の皆さまのご理解とご協力をいただきながら、道路整備に必要な用地の取得・整備を行ってまいります。

<整備イメージ>



区道の歩道設置工事

区道21-137号線（稲荷神社から和田堀公園の区間）について、令和3年度に、道路の拡幅整備を行いました。

拡幅部分は、歩道として整備を行い、可能な限りみどりを残しながら、幅員2m以上の歩行空間を確保しています。（車道部分の幅員は変わっていません。）



整備後



整備後

南口商店街

商店街通りについては、安全で快適な歩行空間や統一感あるまち並みの整備、そのための無電柱化の検討に商店会の皆さまと取り組んでいるところです。



現況



無電柱化のイメージ

都市計画道路 補助132号線



- 平成18年 工事着手
- 令和3年3月 バス路線の経路変更（商店街通り 補助132号線）
- 令和5年3月 工事完了予定

補助132号線 期（西武池袋線から石神井公園までの区間）の工事が完了します。

既に歩行者や自動車等の通行は可能となっていますが、今後、歩道の本整備等を行う予定です。

和田堀緑道の改修

和田堀緑道は、既存の樹木を活かした、みどりと水を楽しめる散策路としてリニューアル工事をします。

- 令和4年10月ごろ 工事着手
- 令和5年4月 開設予定



和田堀緑道改修イメージ